

議会だより

15号



ハツケヨイ!
自慢の宝物

日向八朔祭り 泣き相撲の様子

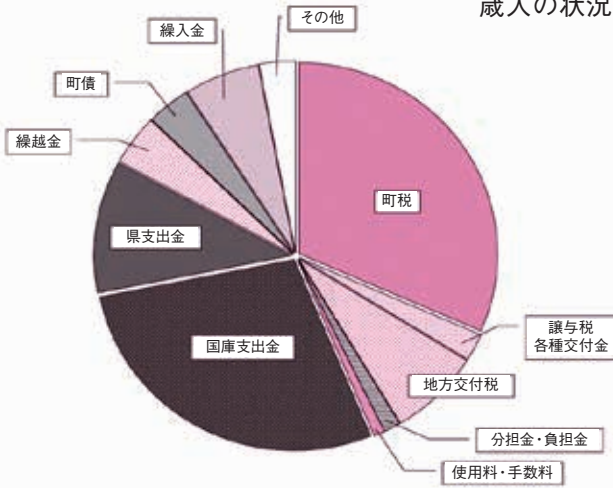
- 9月定例会 2
H24年度決算を認定
- 各種委員会報告 8
県立ポートハウス整備用地を取得へ
- 常任委員会の動き 4
道州制導入反対を決議
- つばたレガッタ 12
- 一般質問 6
そこが聞きたい3人が質問

9月定例会(9月3日~19日)

9月定例会は9月3日から19日までの17日間で開かれました。平成24年度決算関係9議案と、平成25年度一般会計補正予算等7議案で決算、補正予算に係わる16議案を予算決算常任委員会に付託し慎重な審議が行われました。結果として24年度決算関係及び25年度補正予算を承認しました。総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会ではそれぞれ「道州制導入に断固反対する意見書」「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」の意見書提出を採択しました。又、人事案件として教育委員会委員の任期を迎えた大同保氏の再任が同意され、平成26年1月1日から欠員が生じる人権擁護委員として知場富雄氏を推薦いたしました。

平成25年度決算を認定

歳入の状況

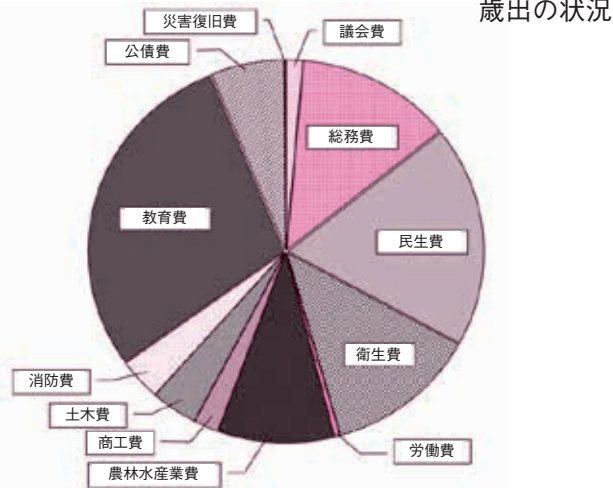


◎歳入の状況

(単位万円)

款	平成24年度	構成比
1 町税	264,357	31.6
2 地方譲与税	5,930	0.7
3 利子割交付金	414	0.0
4 配当割交付金	266	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	76	0.0
6 地方消費税交付金	10,443	1.2
7 自動車取得税交付金	1,877	0.2
8 地方特例交付金	242	0.0
9 地方交付税	63,025	7.5
10 交通安全対策交付金	134	0.0
11 分担金及び負担金	11,287	1.3
12 使用料及び手数料	7,478	0.9
13 国庫支出金	235,788	28.2
14 県支出金	93,493	11.2
15 財産収入	996	0.1
16 寄附金	449	0.1
17 繰越金	35,771	4.3
18 諸収入	23,423	2.8
19 町債	29,959	3.6
20 繰入金	51,441	6.1
歳入合計	836,794	100.0

歳出の状況



◎歳出の状況

(単位万円)

款	平成24年度	構成比
1 議会費	11,009	1.4
2 総務費	104,314	12.9
3 民生費	152,312	18.8
4 衛生費	101,668	12.6
5 労働費	3,460	0.4
6 農林水産費	77,609	9.6
7 商工費	16,450	2.0
8 土木費	31,302	3.9
9 消防費	28,805	3.6
10 教育費	233,100	28.8
11 公債費	48,975	6.0
12 災害復旧費	920	0.1
歳出合計	809,922	100.0

◎歳入
町税が約5億円減少
平成24年度の歳入決算額は83億6794万3千円で前年度(平成23年)の89億473万6千円に比べ5億3679万3千円の減収(15・9%)となりました。その主な要因は、生涯学習センター建設事業に伴い、国庫支出金が約6億円の増額となったものの、法人町民税や固定資産税(家屋の評価替えによる)の減額により約5億1千万円の減収となったほか、地方交付税で約1億2千万円の減額、更に美浜南小学校の体育館改築事業、せせらぎ保育園整備事業の完了により繰入金で約4億円の減額になったことが主な理由です。

◎歳出
教育費 生涯学習センター事業で大幅増
平成24年度の歳出決算額は80億9922万2千円で前年度(平成23年度)の85億4756万7千円に比べ4億4834万5千円の減(5・2%)となり、議会費から災害復旧費までの12区分のうち、総務費、民生費、衛生費、教育費が10億円を超える決算額となり、全体の73%を占めております。民生費は昨年比で大きく減少してありますが、これは地域密着型サービストップ整備事業や、せせらぎ保育園整備事業が前年度で完了したことによりです。又、土木費についても若者定住化対策事業に係わる基金積立金の減額や嶺南圏域総流防事業の完了などにより減額となりました。教育費については、生涯学習センター建設事業で増額になったほか公的資金補償金免除繰上償還を実施した公債費も増額となりました。

(単位：万円)

会計名	最終予算額	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	888,867	836,794	809,922	26,872
診療所事業特別会計	17,524	16,709	16,698	11
国民健康保険事業特別会計	143,222	136,635	128,620	8,015
後期高齢者医療事業特別会計	11,070	11,197	11,039	158
介護保険事業特別会計(介護保険事業勘定)	110,070	107,053	106,588	465
介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)	616	584	584	0
簡易水道事業特別会計	19,019	19,009	18,230	779
集落排水事業特別会計	19,871	19,123	19,108	15
公共下水道事業特別会計	49,114	48,397	48,374	23
合計	1,259,373	1,195,502	1,159,163	36,339

平成25年度 一般会計9月補正予算概要

予算規模	補正予算額	6億9,295万円	補正後予算総額	73億8,132万円
------	-------	-----------	---------	------------

◎ 歳出予算の内訳(主要事項)

(単位：万円)

款	主要事項	金額	事業概要等
総務費	町制60周年記念事業	1,490	のど自慢等記念事業
民生費	福祉センター改修	559	センター屋根の補修等
	みずうみ保育園整備	1,417	備品購入等
農林水産費	有害獣対策費	7,703	恒久柵(金山、興道寺他)
	基幹水利施設ストックマネジメント事業	11,250	頭首工機能保全工事等
	県単小規模土地改良事業	1,000	農業用、用排水整備工事
	町単小規模土地改良事業	347	〃
	農業基盤整備促進事業	1,630	農道、用排水整備工事
商工費	企業誘致調査事業	3,694	産業団地整備事業
	若狭美浜観光PR事業	880	観光PR事業
土木費	原子力災害制圧道路事業	2,135	連絡道路布設替工事等
	気山2号線道路改良事業	1,931	道路改良工事
	除雪作業委託料	2,700	作業委託料
教育費	小学校施設改修事業	1,116	東小、スロープ工事
	ボートハウス建設事業	22,440	用地取得、補償費等

○平成25年度一般会計補正予算

〔総務費〕

NHKのど自慢大会を招致

美浜町町制60周年の記念行事の一つとして、平成26年3月にNHKのど自慢大会を美浜町で開催決定。その他記念式典を実施する費用を補正。

〔民生費〕

保健福祉センターは平成12年完成、屋根の老朽化による防水改修工事を実施する。費用は公共施設補修積立金を充てる。

〔農林水産費〕

今年度、有害獣侵入防止柵約5.4kmを実施

今年度の有害獣侵入防止柵は金山、興道寺、麻生地区の約5.4kmを整備する。設置要望地区はほぼ完了。

〔商工費〕

新たな産業団地候補の舞若道美浜IC近くを測量

新たな産業団地整備に抜けて、候補地の山上地区の測量、調査を開始する。

〔土木費〕

原子力制圧道路関連工事に着手

気山2号線改良事業等のほか、今冬の除雪費用を手当てしました。

〔教育費〕

国体ボート競技開催の準備開始

県立ボートハウス移転先の用地取得、建物移転補償等に資金運用を決めました。

○平成25年度特別会計補正予算

平成25年度の各々の特別会計補正予算審議は特に大きな補正は無く、いずれも原案どおり可決されました。

○意見書提出案件

「道州制導入に断固反対する意見書」

道州制の区割りや、道州制の国民的議論がないまま、道州制ありきの進め方に賛同できない。今後の推移を見守りながら議会としての議論も必要であるとの考えから意見書提出を採択しました。

「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保の意見書」

国は地球温暖化防止の一貫として二酸化炭素排出抑制対策として「石油石炭税の税率の特例措置」を導入した一方、二酸化炭素吸収源対策として重要な森林環境保全の措置を講じなかった。地方の森林は二酸化炭素吸収源であると共に、自然災害から生命財産を守る重要な資源であることから、その財源確保のために意見書を採択しました。

○議員提出議案

美浜町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

この内容は、次回選挙より議員定数が14人に削減された為に、委員会の構成人員数を変更したものです。

○第3回 臨時議会

丹生・竹波の簡易水道設備建屋の設計を承認

8月12日、第3回臨時議会を開催、丹生竹波の水道水の不足対策及び水質良化を目的として、新たに落合川の水を利用した簡易水道設備の建屋建設を承認しました。



常任委員会の動き

各常任委員会に付託された案件と、おもな審議内容をお知らせいたします。

予算決算
常任委員会

付託案件16件

◎議案35号 平成24年度美浜町一般会計
歳入歳出決算の認定について

問 臨時財政対策債は普通交付税に次年度以降算入されるそうだが、これにより地方債現在高を圧迫しないのか。また、利子の分はどうなるのか。

答 本来、国と地域が一体化して行う地方財政化計画において、国が肩代わりすることになっている。

本来なら国が借金して地方に渡すべきものだが、地方が肩代わりし、20年のうちに普通交付税に算入されるが借金に該当する。一般の地方債とは別に区分して表示。利子を含め全額対象となるが、実際には国の予算等もあり債務額全てが交付されるとは限らない。

問 財政調整基金とまちづくり基金の事業要素としての積立と取り崩しをどう区分しているのか。

答 財政調整基金は町の財政が圧迫した時に使用するため残があれば積極的に残していくもの。特定目的基金は普通建設事業を行う際の原資等となる。特定目的のため基金で電源三法交付金の原資も含む。まちづくり基金はまちづくりの為の基金。基金条例を設けており、そこに用途や運用を定めている。

問 本年度決算は将来の財政を見込んだものか。帳尻合わせで基金を取り崩しているのではないか。

答 前年度から選択と集中によって振興計画と行政評価を一体化し、今やるべき事業と先送り可能な事業を振り分けて取り組んでいる。当初から法人町民税の減額が見込まれたことから財政調整基金2億円を充てたが、結果余剰が出た。近いうちに補充する必要があるので。法人町民税が減収になっており、先行きが見えない。国の原子力政策の推移を見極めながら集中と選択による財政運営を進めたい。

議会議員・総務費
問 デマンドタクシー導入の検討をしている様だが、その状況はどうなっているのか。

答 平成26年4月を目途にデマンド導入を考えている。利用の多い路線・時間帯はコミュニティバス、それ以外はデマンド。業者に協力を要請中。

農林水産費
問 有害鳥獣の捕獲状況は。

答 シカは23年度1127頭、24年度1002頭で減少。イノシシは23年度295頭、24年度435頭で増。サルは

23年度64頭、24年度111頭で増。

歳出全般
問 小水力発電の実現は可能か。

答 新庄地区ほか4カ所の候補地を設けたが、費用対効果で考えると難しいという結論に至りつつある。現在、小水力発電を含め太陽光、バイオマス等の可能性調査を実施している。11月には可能性調査委託業者から中間報告を受ける。

歳入
問 不納欠損は徴収不能か。

答 収入未済額の1億2325万円の中には、時効等で法律上徴収できない分も含まれているので、平成23年度から5年計画で不納欠損処理する予定である。その他の特別会計決算について審議詳細は省略しています。必要な方は議事録閲覧できます。

◎議案第44号 平成25年度美浜町一般会計
補正予算(第2号)

農林水産費
問 有害鳥獣侵入防止柵について、手直し費用を今後どうするか。他に希望を出せば集落負担の上で行えるのか。

答 柵の補修は当初予算で既に計上済み。区で行う場合、資材費は全額町が負担



有害鳥獣侵入防止柵

教育費

問 福井国体に向けてボートハウス用地の費用対効果としての大義は。

答 1、ボート関係者及び漕艇場利用者の安全確保。

- 2、ポート場を活用した町の振興。
- 3、新・福井国体を機に県が主体となって施設整備を行うことになっており、底地を確保することで施設移転が可能となる。
- 4、総合運動公園として一体化した施設の活用が可能となる。
- 5、湖を取り込んだ町の活性化エリアとして整備できる。
- 6、舞若道開通に当たり周辺公共用地と一体化して魅力ある活用を図ることが可能となる。
- 7、他の業者に転売された場合のリスクを抑止する。

総務文教 常任委員会

意見書審査2件

●意見書「道州制導入に断固反対する意見書」の提出について

全国町村議会議長会では「道州制は絶対導入しないこと」を全国議長大会などで決議し政府・国会へもその都度反対しているなど同調することが適当である事とし賛成である。

●総務文教委員会視察（7月19日）

人口減少対策について

糸魚川市の取り組みを視察

美浜町でも少子化に伴う出生数の減少と若者を中心とした人口流失により年々人口が減少しております。加えて総人口に占める65歳以上の高齢者の人口比率はすでに30%を超え、著しく高齢化が進む傾向にあ



総務文教委員会視察の様子

ります。京阪神や中京圏に近い立地条件を活かし、観光の充実や都市との交流による地域活力の再生、若者定住環境の整備、後継者の育成による農林水産業や商工業の振興、個性や魅力ある地域づくりの推進などによって人口の減少に歯止めをかけることが喫緊の課題となっております。

定住自立圏対策の取り組みや各種人口減少対策、ふるさと糸魚川同窓会応援事業等、糸魚川市の取り組みについて視察させていただきました。当町においても参考となる施策も多く、議会としても取り組んでいきたい。その他、翠の交流都市糸魚川市の観光資源の中心となる「フォッサマグナミュージアム」を合わせて見学した。（松坂記）

産業厚生 常任委員会

意見書審査1件

●産業厚生常任委員会

森林吸収源対策及び地球温暖化に関する地方の財源確保のための意見書

審査内容

賛成意見：美浜町も7割を超える森林面積があり、森林環境保全促進のきっかけとすべきだ。

慎重意見：直接間接的に、税上昇の可能性があり慎重に対処すべきだ。

採決結果：委員会で協議の結果、意見書提出を採択しました。

●産業厚生常任委員会研修報告

完備された健康施設に感動

産業厚生常任委員会は7月26日「あいち健康の森、健康科学総合センター」（通称あいち健康プラザ）を訪問視察研修しました。この施設の特徴は「健康長寿あいち」の実現をスローガンに、健康の為の開発と実践、指導

者養成、交流支援、研究開発を進めている事です。美浜町の「げんげん運動」等の健康づくり推進の参考にす為、行政に内容を伝えに行きます。（浜野記）



あいち健康プラザ視察の様子



松坂 隆司 議員

北陸新幹線若狭ルートで どうなる小浜線！

問 新幹線若狭ルートに関し美浜町の立場は。

町長 若狭ルートに関しては嶺南一丸となつて若狭回りの同盟会と一緒に進めていく必要があると思つている。

問 若狭ルートの場合、小浜線は。

町長 小浜線は優等列車が無いので第三セクターではなくJRが運営をしていくということで確認できている。

問 琵琶湖若狭湾快速鉄道単体と、新幹線若狭ルートと並行して見た場合とでは見え方や戦略も違い、必要なルートであるのか疑問を感じるが美浜町の立場は。

町長 琵琶湖若狭湾快速鉄道建設促進期成同盟会は小浜市が事務局となり、事業計画の実現に向けて要望活動を行っている。市町の積み立てが約25億、県が約40億、合計66億の積立金。快速鉄道の総額は440億強。今後も福井県側の同盟会は活動を続けていく。滋賀県

側との協議が非常に重要だが、具体的には進んでいないが、動向を見きわめながらやっていきたい。

問 66億の積立金が、琵琶湖若狭湾快速鉄道から若狭ルートの為に付けかえられる事は無いのか。

町長 議論もそういうことは無い。

問 琵琶湖若狭湾快速鉄道と新幹線若狭ルートの二兎を追う理由とは。

町長 嶺南6市町合意の中で、過去の歴史を踏まえて取り組んできている。二兎を追えるかどうかの問題もあるが、今美浜町のほうから二兎を追うという考え方はまだ出ず時期ではないと思つている。今までどおりの活動は進めていく中で、議論をしていきたいと考えている。

舞鶴若狭道来年開通で どうなる美浜町！

問 舞鶴若狭道開通後の誘客に対する対応はできているか。

町長・商工観光課長 開通に向け、今年度は中京方面を年明けには中国・関西地域をターゲットに進めていく。美浜のみならず若狭という形で若狭連と協力していきたい。道路案内は道路案内、案内看板、観光看板の3種類で考えている。

問 27号線歩道の整備等について高速道路完成に間に合うのか。

土木建築課長 事業期間は平成23年度から27年度。若干間に合わない状況ではあるが、地元の協力を得ながら進めている。全てがかなったときにどのような将来像を描くのか。

問 観光や工業の集積等が容易になつてくると考えている。将来像としては、嶺南・福井県だけでなく広く北近畿などの連携が必要になつてくると考えている。

町長 完成した暁には町長、一緒に新幹線に乗りにいきましょう。

問 期待しています。

町長 期待しています。



竹仲 良廣 議員

公用車空き利用について

使用頻度の少ない土日祝日に町民に無償貸し出しをしてはどうか

自治会や公的な団体等で使用できないか検討する。

問 美浜町において、業務に必要とされる多くの公用車があると思

うが、現在どれだけの車を保有しているのか。

総務課長 除雪車、給食の配送車、霊柩車等の特殊車両を除き、合計で47台保有している。内訳は、軽自動車26台(乗用車19台、軽トラック7台)、普通車は19台(乗用車14台、バンタイプ5台)。普通トラックが2台である。

問 美浜町で管理している公用車(軽トラック、2トトラック)を土日、祝日に限り、無償貸し出しをしてはどうか。

総務課長 無償貸し出しについて、全国の町村で実施していることは承知している。個人使用になると、いくつかの問題が出てくるのが予想されるので、御要望にはお応えできない。ただし、自治会とかいわゆる公的な団体等が、公共施設の清掃活動とか、地域の周辺の美化活動等に使用する場合については、今後その利用形態を考えながら、検討したい。

三方五湖、レインボーライン 観光へのアピールについて

世界的な発見(年縞)を観光誘致に活用できないのか
若狭、美浜両町力を合わせてPR活動をして行く。

【年縞について解説：水月湖の湖底の堆積物のしま模様のこと、木でいうと

各種委員会報告

【議会全員協議会】

野菜工場破産手続き開始

7月18日、現在休眠状態にある野菜工場の現状について報告がありました。同社は平成19年3月、美浜町と工場進出に係る協定書を締結、以来工場を建設、平



野菜工場

成20年7月操業を開始しました。しかし同12月には早々と再建計画の検討を余儀なくされるなど、決して順調と言える歩みではなく、一時の休業状態から生産を再開しましたが、23年12月再び生産・出荷を中止して以来休眠状態にありました。24年3月以降、経営再建の為、種々の対応策を検討してきましたが、7月19日付で破産手続きの申し出が出される結果となっております。(兵庫記)

新県立ポートハウス整備用地を取得へ

7月31日、県立ポートハウス整備事業



移設される県立ポートハウス

についての説明がありました。2018年福井国体開催に当たって、県では老朽化したポートハウスの移転新築とコースを全面的に改修することを決定しております。用地については地元の町において確保しなければならぬため検討していましたが、町のポートハウスや競技を行なうポートコースおよび周辺水域を一体的に利用できる環境を整備すべく、現在の漕艇場に隣接する土地、施設の買収交渉に入っております。(兵庫記)

小学校の再編計画について

7月31日、著しい少子化にともない児童数の減少に歯止めがかからず、小学校の再編が課題となっていました。再編計画に係るこれまでの経緯やアンケート調査の結果報告が町教委よりありました。平成23年3月に行政と議会との懇談会がもたれて以来、次の様な経緯をたどって来ております。

- 23年6月 学校教育環境調査委員会(以後3回)
- 7月 アンケート作成委員会(以後3回)
- 8月 アンケート調査用紙送付
- 9月 アンケート締切
- 24年3月 学校教育環境調査委員会報告書
- 6月 HPや広報はまで調査結果報告
- 7月 再編検討委員会(以後1回)
- 8月 丹生小学校区団体役員説明会以降各校区で以後本年7月まで各校区であらゆる説明会・懇談会・アンケート調査がもたれてきました。

25年7月教育委員会(5名)において実施計画を検討

※学校教育環境調査委員会

議会・区長会・民生委員・校長会・PTA等の代表16名で構成

※アンケート作成委員会

学校教育環境調査委員より4名選出し構成 (兵庫記)

【原子力発電所特別委員会】

原子力発電所特別委員会視察研修(平成25年9月24～25日)

両日において中部電力(株)浜岡原子力発電所及び(独)日本原子力研究技術開発機構瑞浪超深地層研究所の視察研修を行いました。

中部電力(株)浜岡原子力発電所

発電所概要について

御前崎市の人口は約3万5千人。発電所従事者の市内割合は約5割弱、県内割合では約80%を占めています。日本で唯一、敷地全面に専用の港を持たない原子力発電所で、大型機械等は御前崎港から陸上輸送をしています。

すべての原子炉とも沸騰水型軽水炉で、1号機、2号機は廃炉措置中。3号機、4号機、5号機合わせた最大電力は361.7万kw。2011年5月、時の管直人内閣総理大臣の「浜岡原発停止要請」を受け停止して以来現在も定期検査中です。



視察の様子（原子力発電所特別委員会）

安全性向上に向けた取り組みについて

新基準への対応に向けた取り組みや地震への対応、津波への対応、シビアアクシデントへの対応などの取組み状況の説明後現地視察を行いました。

津波が発電所敷地内に侵入すること防ぐ防波壁については、総延長1.6 kmで海抜18 mの防潮壁が出来上がっており、さらに4 mの嵩上げ工事が行われていました。その他にも、防波壁実物大模型や緊急時海水取水設備の状況、原子炉建屋内への浸水防止対策等を視察。

また、海抜40 mの高台を造成して緊急時に対応できる設備の設置場所（ガスタービン発電機建屋、緊急用資材倉庫、緊急時電気品建屋、燃料タンク）等を視察し安全性向上に向けた取り組み状況を

確認しました。

（独）日本原子力研究技術開発機構 瑞浪超深地層研究所

使用済燃料の再処理によって生じた高レベル放射性廃棄物からは最初強い放射線が発生します。放射線は年月が経つにつれ減っていきますが、長い時間を要するため、人間の生活に影響を及ぼさないように処分する必要があります。

日本の法律では地下300 mより深い地層中に埋めて処分することが決められており、原子力機構では、高レベル放射性廃棄物を地層に安全に処分するための「研究や技術の開発を行っています。

この瑞浪超深地層研究所では、主に花崗岩を対象として、岩盤の強さ、地下水の流れ、水質などを調べたり、実際に地



視察の様子（原子力発電所特別委員会）

下に研究坑道（立坑及び水平坑道）を建設して研究を行っています。

現在、主立坑は深度約500 mのところを掘削しており、深度300 mの地点までは見学できるエレベーターが設置されており水平坑道も見学できました。

今後更に地層や岩盤の分布、地下水の流れ方・水質、岩盤の硬さなどを把握する調査技術の確認を行っていくとともに、地下深部に研究坑道のような空洞を安全に建設する技術の確認を行っていくということでした。（松田記）

【議会活性化特別委員会】

11月に地域で「語ろう会」実施

9月17日に「議会活性化に係る今後の方針として」及び「議会と語ろう会について」を議題に①開催時期②開催場所③主なテーマ④町民への周知方法⑤その他について協議を行いました。協議の結果、方針は出ず、各集落と語ろう会を行うことになったが、内容については、作業部会で検討し再度全員で協議し実施することになりました。

原子力特別委員会の定数について、従来の地区割りを廃止し、定数を7名申し合わせにより2年毎に交代ということに決定しました。

9月27日、新潟県阿賀町議会を視察研修しました。阿賀町は平成17年に4町村が合併し人口約1万3000人、面積

は950 km²と美浜町の約6倍の町です。

視察内容として①議会報告会について②議会基本条例を中心とした議会改革の取組みについてを阿賀町議会の神田八郎副議長ほか3名の議員から説明を受けました。議会報告会については、町民に身近で開かれた議会づくりを目指し、町内各地域を回り議会の活動内容や議会で審議されたことなどを報告すると共に議会や町政に対する皆様からの率直な意見、要望を聞くという内容であります。1年間に120集落72回議会報告会を行うということは大変関心いたしました。

議会基本条例については、平成20年から先進議会へ視察に行き平成22年にたき台を基に検討会を開催し23年4月より施行されました。内容として、誰が見ても理解でき難くない議会基本条例を作った等の説明を受け、大変意義のある視察研修となりました。（崎元記）



視察の様子（新潟県阿賀町議会）

その他 活動報告

〔関西電力原子力発電所立地 町議会連絡協議会総会 (平成25年8月1日)〕

平成25年度関西電力原子力発電所立地町議会連絡協議会総会が美浜町役場において開催されました。この協議会は、関西電力の原子力発電所を立地している美浜町、おおい町、高浜町の3町の議会で作る協議会です。

第1号議案から第4号議案について審議され、4議案とも原案のとおり承認されました。また、関西電力に対し要請活動を実施すべしとの意見があり、全会一致で決議されました。

それを受け、8月22日、会長が本協議会の議決内容に基づき当協議会にとって最重要案件である5項目について関西電力(株)原子力事業本部に要請書を提出しました。

午後からは、関西電力(株)美浜発電所PR館において、安全性、信頼性向上の取り組み状況を視察研修しました。(松田記)

〔嶺南広域行政組合議会〕

有害鳥獣処理・加工施設完成

当議会は、嶺南地域6市町が抱える

共通の課題を協議、互いに協力し解決・実現するため結成された広域行政組合の議会で、其々の市町議会から選任された代表21名の議員で構成されており、高速度交通網・有害鳥獣対策・連携しての観光客誘致対策等多くの課題に取り組んでおります。最近の状況をご報告致します。

7月16日、敦賀市立図書館に於いて同議会の臨時会が開催され、諸般の報告があり監査委員の選任が行なわれ、我町の藤本悟議員(議長)が選任されました。

9月14日嶺南地域有害鳥獣処理・加



有害鳥獣処理加工施設

工施設の竣工式が行なわれました。この施設も同組合の取り組みの成果であります。県内でも特に有害鳥獣による被害が著しい嶺南地域への対策として、『有害鳥獣の処理および利活用』を県・国へ要望してきましたが、これにより捕獲後の処理作業がより適切・有効に、また大きく軽減されることとなります。ちなみに昨年度の捕獲個体数は地域全体では6千百頭余りに上ります。焼却施設の焼却能力は一度に40〜50頭を約5時間で処理出来るとのことでした。加工施設(若狭ジビエ工房)での食肉としての有効活用にも大いに期待がもたれます。事業概要は次の通りです。

事業名 嶺南地域有害鳥獣処理・加工施設整備事業
事業箇所 若狭町海士坂42-73
敷地面積 3千61㎡
総事業費 5億8千8百17万6千円
事業内容 焼却施設(焼却処分)

設備 焼却施設・冷凍保管庫
設備 焼却施設(食肉として加工販売)
設備 作業台・熟成庫・冷凍保管庫

〔委員長・副委員長研修会〕

委員会運営を勉強

福井県内の町議会議長会では、一年に一度それぞれ常任委員会及び、特別委員会の委員長、副委員長を一堂に集めて標記研修会を実施している。今年8月9日に自治会館で開催され



委員長・副委員長研修会の様子

た。内容は基本編と応用編で、主に事前の質問事項に答える形で解説がなされた。基本編では委員会の種類や、役割、更に委員の選出や任期等、初歩的ではあるが、しっかりとした基本の説明がありました。応用編では特別委員会の廃止の仕方、不当発言や排斥、懲罰特別委員会の設置等、直面した時の対処方法について解説がなされた。議員必携の記述解説だけでなく具体的事例を聞くことにより理解が深まった研修でした。(浜野記)

【福井県原電所在地議会
特別委員会連絡協議会総会
(平成25年8月22日)】

県内原子力発電所の活断層を学ぶ

平成25年度福井県原電所在地議会特別委員会連絡協議会総会が高浜町文化ホールで開催されました。この協議会は、原子力発電所を立地している敦賀市、美浜町、おおい町、高浜町の4市町の議会で作る協議会です。

第1号議案から第5号議案が審議され5議案とも原案どおり承認されました。総会終了後は、研修会が開催されました。

講師 原子力規制委員会原子力規制庁
地域原子力規制統括管理官

小山田 巧氏

内容 県内原子力発電所の破砕帯調査及び新基準適合性審査の状況について研修しました。

【公立小浜病院組合議会】

レイクヒルズ美方病院の活用を

去る8月30日、平成25年第4回公立小浜病院組合議会が招集されました。

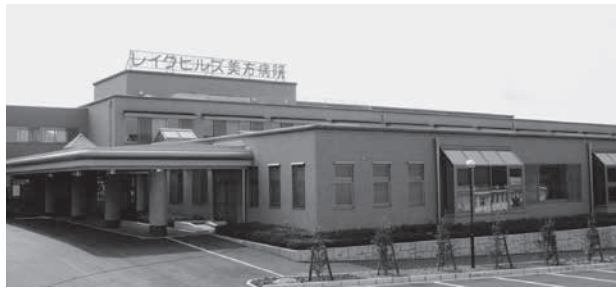
〈付議案件〉

- (1)会期の決定について
- (2)平成24年度公立小浜病院組合病院事業会計決算認定について

(3)平成24年度地方公共団体の財政の健全化に関する法律における資金不足比率の報告について

会期は8月30日から10月8日までの40日間に決定しその他の案件については常任委員会に付託されました。

10月8日本議会が再開され、常任委員長より委員長報告が行われ、その後委員長の通り可決されました。
(倉田記)



レイクヒルズ美方病院

【福井県町議会議員研修会報告】

大切な議員綱領

平成25年9月2日、福井県自治会館にて福井県町議会議員研修会が行われました。講師は、市町村アカデミー客員教授 大塚康夫氏。

演題は「議会人の危機管理」について

てご講演いただきました。内容は

- 第一 政務活動費
 - (1) 政務活動費とは
 - (2) 法的性格
 - (3) 政務活動費の使途
- 第二 本会議審議と委員会審査のあり方
- 第三 兼業の禁止

講演終了後、質疑応答があり研修会を終了しました。
(倉田記)

【第22回全国市町村交流
レガッタ阿賀大会参加】

大奮闘及ばず

9月28・29日の両日、全国市町村交流レガッタが本年度は遠く新潟県阿賀町で開催されました。我美浜町で初めて開催されて以来、22回を数えるに到っております。本町は毎回町民レガッタの前年度優勝クルーを代表に派遣し参加していましたが、昨年度は総合優勝を果たしております。議会でも2クルーを編成し、国内の漕艇場を有する市町村との交流と、応援の一翼を担うべく参加させて頂きました。せめて参加点でも稼ぎ、少しは美浜に貢献できるよう老骨に鞭打ち一生懸命頑張りました。美浜町クルーの奮闘の結果は下記の通りでした。

町民の皆様には、今後とも全国大会を目指し頑張っ頂けるよう期待いたします。ただ美浜町民レガッタと同大

会の部門が一致せず、町で優勝しながら全国大会に出場出来ない一部の競技が有りますので、関係者には今後調整の努力を期待したいと思います。福井県も決まりましたし、ボート競技がより盛り上がります様ご協力お願い申し上げます。
(兵庫記)

◎結果一覧

部 門	クルー名	結果
議会議員の部	美浜町議会「三方五湖」	6位
議会議員シニアの部	美浜町議会「水晶浜」	敗者復活 敗退
熟年男子の部	久々子日の出会	3位
壮年男子の部	まきぐちJ	4位
成年男子の部	SR2BK	優勝
壮年女子の部	久々子	準決勝敗退
成年女子の部	にっかぼっか国吉	優勝
男女総合順位	2位 (25市町村中)	
女子総合順位	6位 (25市町村中)	



全国市町村交流レガッタ阿賀大会

議会の動き

7月8日	全国原子力発電所立地市町村議会議長会平成25年度総会
11日	議会運営委員会 議会活性化特別委員会
12日	福井県町村議会議長会臨時総会
16日	嶺南広域行政組合協議会
22日	嶺南市町議会議長会定例会
26日	産業厚生常任委員会視察研修
8月1日	関西電力原子力発電所立地町議会連絡協議会平成25年度総会
6日	県原協理事会
8日	原発サミット実行委員会
9日	委員長・副委員長研修
12日	議会運営委員会
17日	第3回町議会臨時会
18日	琵琶湖若狭湾快速鉄道建設促進期成同盟会総会 つばたレガッタ
22日	県原協平成25年度総会
27日	議会運営委員会 議会活性化特別委員会研修
30日	公立小浜病院組合協議会
9月2日	町議会議員研修
3日	第4回美浜町議定会定例会 本会議・全員協議会
4日	第4回美浜町議定会定例会 本会議（一般質問）
5日	予算決算常任委員会
6日	予算決算常任委員会
10日	総務文教常任委員会
11日	産業厚生常任委員会
12日	嶺南広域行政組合決算審査
13日	全員協議会 現地視察
17日	議会活性化特別委員会
19日	第4回美浜町議定会定例会 本会議・全員協議会
24日	原子力発電所特別委員会視察研修（～25日）
27日	議会活性化特別委員会視察研修（～29日） 第22回全国市町村交流レガッタ阿賀大会

なんとなんと!! 美浜町議会チームが 3年連続優勝



第26回石川県つばたレガッタにて、三連覇。今年も引き続き優勝し、三連覇に輝いた。河北省・南砺市議会とさらに、美浜町議会を含め新たに富山県・石川県の県議会チームも参加し12クルーで議会の部が開催された。大会では、議会議員クルーで、今年も引き続き優勝し、三連覇に輝いた。尚、この議会の部の形態は、美浜の町民レガッタにも取り入れていけたらと思います。（山口記）



議会広報特別委員会視察研修 議会広報誌のさらなる バージョンアップへの研修受ける 主要企画にしばった見出しの工夫等 自己満足に留まらない様に

7月3日 午後1時から、福井県自治会館にて開催。講師は、昨年と同じ芳野政明（よしの まさあき）氏で 最初に「議会広報が自治体情報の主役になる時代」と題して講義を受け、講習を受けた。クリニックでは、第14号を提出したところ、表紙の写真は前回同様指摘は無いものの、今後の「企画の検討を期待する」との指摘を受けた。（山口記）

編集後記

「まさか」と言う言葉を何度も使うのは経験値が不足し、警戒心が弱いからである。と何かで見つけた事があるが、もともと9月は台風の季節・・・はじめて起用した「特別警戒」発令とは言い地震もその通り経験値の無さが作るものなのでしょうね。今度の災害で大きな被害を受けられた町民の皆様、地区に心からお見舞いを申し上げます。皆さまに読みやすく、見やすい様にと議会広報誌を制作してはや15号目になりました。これからも出来る限り伝えていきたいと思っております。（山口記）



- 美浜町議会広報特別委員会
- 【委員長】山口 和治
 - 【副委員長】浜野 健治
 - 【委員】松坂 隆司・崎元 良栄・竹仲 良廣・倉田 愛子